

素晴らしい景色に、 身を委ねる

Soak in the breathtaking views.

はるか昔の火山の噴火によってできた大小 17 の島々からなる小値賀諸島。そのため島では、いまでも自然の壮大でユニークな姿を間近に見ることができます。さらに、島のそこそこには、土地の特性に寄り添って長い時間をかけて作り上げられてきたなりわいの風景が広がります。島で交差する、地球の時間と生き物の時間。小値賀ならではの景色にしばし身を委ねましょう。



Multilingual



五両だき GORYO CLIFF

かつて火口だった場所を、長い時間をかけて波が削って、この奇景が生まれました。崖の上から眺め下ろすのも圧巻ですが、もし引き潮のタイミングだったら砂浜に下りて崖を見上げてみれば、その迫力に驚くはず。ちなみに「だき」というのは、小値賀の方言で「崖」のこと。



Multilingual



長崎鼻 NAGASAKI BANA PASTURE

島では畜産が盛ん。島を移動していると見かける「牛に注意」という看板は、牛が放牧地へ向かうときに注意を促すものです。島の北端に突き出た長崎鼻は、そのような放牧地の一つ。青い空と海、緑の牧草地の一面のパノラマの中で、真っ黒な牛が点在してゆっくりと草を食む様子は、まるで一枚の絵のようです。



Multilingual



放牧地内に入ったり、牛に餌をやらさないでください。



What You Can Do
on Ojika Island
10

全身で海を感じる

Enjoy some marine activities.

海に囲まれた小値賀ならではの海遊びも楽しみの一つです。島内にいくつかある海水浴場は、いずれも遠浅で家族連れにとっても安心。まるでプライベートビーチのように、贅沢に時間を過ごすことができます。また事前に予約をしておけば、シーカヤックやSUP、ダイビングも体験可能。透明度の高い海で、風を感じ魚と戯れのんびり過ごす時間は、なににも代えがたい経験です。

体験プログラム
について、
詳しくはこちら

「おぢか島旅」



Multilingual

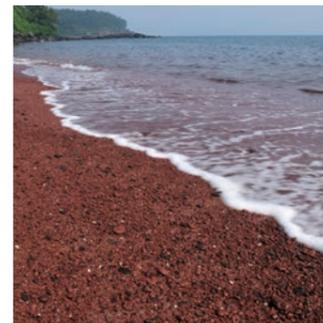


What You Can Do
on Ojika Island
8

赤い砂浜で宝物を探す

AKAHAMA RED COAST

見渡す限りの赤い砂礫。異世界を思わせる真っ赤な砂浜は、鉄分を多く含んだ火山岩が砕けてつくられました。全国でも珍しいその名の通り「赤浜海岸」の景色を堪能したら、ぜひ足元にも目を凝らしてみてください。波に揉まれてできたシーグラスが見つかります。海の宝石とも言われる美しいかけらを、旅の思い出にどうぞ。



Multilingual



Multilingual

海に向かって建つ白い鳥居の先、玄武岩の岩場の奥にあるのが「ポットホール」です。深さ 3m 口径 90cm の細くて深い穴の中で、荒波に洗われるうち、穴を削り、石そのものも磨かれて今のような姿に。「玉石さま」と呼ばれ長い間信仰されてきました。険しい岩場に位置し、波が高い日は近づくことができませんのでご注意ください。

What You Can Do
on Ojika Island
9

珍しい奇石と出会う

POTHOLE





鯨波



KONNE (こんね) Lunch & Cafe



CAFE Goto no Kaze



すずらん



喫茶タートル

What You Can Do
on Ojika Island

11

活版で、オリジナルポストカードをつくる

Create and original postcard with letterpress.

島の人の名刺や役場の封筒など、小値賀の印刷物には味があるものをよく見かけます。それは、島で100年以上続く印刷所が、現役で活版印刷を営んでいるから。島を訪れた人もまた、活版印刷の体験をすることができます。紙を決め、言葉を考えて、活字を拾う。インクをのせて印刷すれば、世界で一つだけのオリジナルポストカードができあがります。印刷面に刻まれた凸凹は、心に刻まれた旅の記憶のようです。

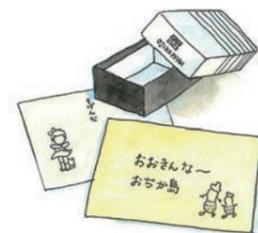
◇おぢかアイランドツーリズム 電話：0959-56-2646



晋弘舎・OJIKAPPAN



Multilingual



What You Can Do
on Ojika Island

13

島ランチ&島カフェでリラックスする

Take a lunch break.

島にはいくつかの飲食店があり、ランチやお茶を楽しむことができます。島の野菜や魚に舌鼓をうちながら、島の人に小値賀の見逃せないポイントを尋ねてみると、意外な情報を教えてもらえるかも。しっかり休んだら、再び島の散策に出かけましょう。



Multilingual

What You Can Do
on Ojika Island

12

もっと島を深掘りしてみる

Experience something new.

島には多様な体験プログラムが準備されています。そのどれもが島の文化や風土としっかり結びついたものばかり。一例を上げると、島の人々が大切に手入れをしているゴルフ場でプレーしたり、お寺で石庭づくりを体験したり、島の赤土を使って焼き物をつくったり、海洋ゴミを拾ってキーホルダーをつくったり...。楽しく体験しながら、さらに島への理解が深まります。ほかにもさまざまな体験ができるので、ぜひ予約の上参加してみてください。

◇おぢかアイランドツーリズム 電話：0959-56-2646

体験プログラム
について、
詳しくはこちら

「おぢか島旅」



カフェ・
喫茶利用
ができる
お店

◇カフェ・喫茶利用ができるお店◇

【カフェとお菓子】カフェとお菓子のお店 tan tan
住所：小値賀町笛吹郷 1540-2、電話：0959-56-2662、営業時間：10:00~17:30、定休日：月・火曜日

【カフェ】CAFE Goto no Kaze
住所：小値賀町笛吹郷 1537-36、電話：なし、営業時間：10:00~15:00、定休日：水曜日

【喫茶店】喫茶タートル
住所：小値賀町笛吹郷 1891 民宿田登美 1F、電話：0959-56-2087、営業時間：10:30~18:00、定休日：日曜日

飲食店情報について、
詳しくはこちら

「おぢか島旅」





今日の宿泊は、島のおうちに泊まる民泊の予定。せっかくなので民泊先のお父さんやお母さんに教わりながら、旬の野菜の収穫など島の暮らしを体験してみましょう。家庭菜園で野菜を収穫するのも、夕食を一緒に作るのも、最初はごちなくとも慣れてくればどんどん楽しくなってきます。自分で採ったものを食べられるなんて、お金では買えない贅沢な体験です。季節によって、とれる食材はさまざま。さて、今日の夕食はなんでしょう？



What You Can Do
on Ojika Island
14

今日の夕食を 自分たちでゲットする

Harvest vegetables and catch fish for dinner.

民泊先では、旅館や民宿などのお宿とは少し違って、島のお父さんお母さんのお手伝いをしながら、一緒に夕食を作ります。釣った魚のさばき方を教わり、採れたて野菜と一緒に料理しながら島の話をしていると、いつもとは違った時間が流れていることに気づきます。



What You Can Do
on Ojika Island
15

島のおうちで まるで親戚のように過ごす

Stay with a local family.

小値賀の民泊は、島のふつうのおうちにホームステイしながら、家族のように暮らしをともにさせてもらうというもの。現在約数十軒の民泊民家があり、それぞれ一日一組の旅人を受け入れています。家族づれはもちろん、友達同士、ひとり旅など、さまざまな人が「島のおうち」に泊まりにやってきました。

最初はちょっと緊張していても、一緒にごはんを食べ、時間を過ごすほどにどんどんくつろいだ気持ちになってきます。まるで新しい親戚ができたみたいで、ぐっと島との距離が縮まる体験です。「お世話になりました」とおうちを去る頃には、ちょっとセンチメンタルな気持ちで、「また来ます」と約束したくなってしまう。



小値賀の民泊について、詳しくはこちら
「おぢか島旅」



◇おぢかアイランドツーリズム 電話：0959-56-2646



What You Can Do
16
on Ojika Island

夕日をひとりじめする

Bask in the sunset.

海に沈む夕日を堪能できるのは、日本の西端に位置する小値賀ならではの。小値賀島から橋を渡った斑島の西岸からは、東シナ海に沈む夕日を望むことができます。

時々刻々と変化する空の色は、息を呑む美しさ。すっかりあたりが暗くなる頃には、日々の憂鬱を忘れてしまうかもしれません。夕日が見える場所は、サンセットポイントや海岸沿いの道路、灯台を望む草原など、島のあちこちに。ぜひあなただけのお気に入りの場所を見つけてみてください。



Maitingwai



What You Can Do
17
on Ojika Island

築100年を超える古民家に泊まる

Stay at a traditional Japanese house KOMINKA.

小値賀では、「古民家ステイ」という古民家を改修した宿泊施設に泊まることができます。いずれも築100年を超えるもので、当時の意匠に敬意を払いつつ、いま訪れる人達が快適に過ごすことができるようリノベーションが施されています。

泊まれる古民家は6つ。港のそば、路地の一画、里山の中など趣の異なる集落に点在し、かつて武家屋敷や商家として大切にされてきたものです。一棟貸し切りだから、過ごし方は人それぞれ。ここを拠点に島を散策するもよし、部屋にこもって何もしない時間を楽しむもよし。島に溶け込む「暮らすような旅」が叶います。

◇おぢかアイランドツーリズム 電話：0959-56-2646



古民家ステイ
について、
詳しくはこちら
「おぢか島旅」



Multilingual

東洋文化研究者
おぢか観光まちづくり大使
アレックス・カー氏

[producer Alex Kerr]

古民家ステイは、東洋文化研究者アレックス・カー氏プロデュースのもと、多くの人々の想いが集まってつくられました。



鮑集

[HOSHU]

港を見下ろす窓辺、緑の庭。鮑の浦の屋敷の内は、くつろぎの空間。

●定員：6名様まで



日月庵

[NICHIGETSUAN]

港越し、月の出を待つひととき。商家の一角に満ちる、眩しい時間。

●定員：2名様まで



先小路

[SAKISHOJI]

格子ごし、港町の懐かしい風景。島人の暮らしに近づく路地の家。

●定員：3名様まで



親家

[OYAKE]

深き緑の屋敷林、石垣のテラス。武家の館の静かな島時間。

●定員：6名様まで

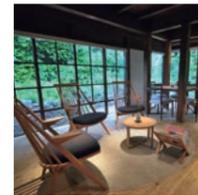


一期庵

[ICHIGOAN]

石垣のアプローチを抜けて格子窓に光さす隠れ家へ。

●定員：3名様まで



一会庵

[ICHIEAN]

庭を愛で、光と戯れる木漏れ日と過ごす家。

●定員：3名様まで



小白山

[KOJIROYAMA]

『田舎の島の田舎』で、ゆったりとした島時間。

●定員：8名様まで

古民家レストラン 藤松

[FUJIMATSU]

捕鯨・酒造りで小値賀の富を築いた、旧藤松家のお屋敷を改修したレストランです。広大な敷地には専用の船着場跡もあり、傍らの砂浜にアコウの巨木、海の向うの野崎島を一望することができます。

【前々日18時までの完全予約制】



古民家レストラン
藤松について、
詳しくはこちら
「おぢか島旅」



島の宿でホッとひといきつく

Relax at an island inn.

島には個性豊かな宿がいろいろ。旅館や民宿、一棟貸しの宿、ゲストハウスなど様々な宿があり、いずれも旅人をアットホームに迎えてくれますので、旅の形に合わせて選んでみて。



小値賀の宿泊施設について、詳しくはこちら「おぢか島旅」



小西旅館

小値賀町笛吹郷 2789
電話：0959-56-3145



丸ま旅館

小値賀町笛吹郷 1659 電話：0959-56-2017
<https://ojika-maruma.com>



島宿御縁

小値賀町笛吹郷 1359-1 電話：0959-56-2588
<https://www.shimayadogoen.com>



オヂカノオト

小値賀町笛吹郷 1720 電話：0959-56-3090
<https://ojikanooto.com>



一棟貸し



蒼の家 (あおのいえ)

小値賀町笛吹郷 1763-1 電話：080-5751-5050
<https://aonoie-oyjika.com>



一棟貸し



古民家 Inn 筑前屋

小値賀町笛吹郷 1911-2
電話：080-8577-6574



一棟貸し



民宿 田登美 (たとみ)

小値賀町笛吹郷 1828 電話：0959-56-2087
<https://tatomi.eyado.net>



民宿 愛宕 (あたご)

小値賀町前郷 3684 電話：0959-56-2491
<https://minshuku-atago.com>



民宿 千代

小値賀町笛吹郷 1358-6
電話：0959-56-2867



民宿 ちとせ

小値賀町笛吹郷 1856-1
電話：0959-56-2797



NOUSHIMA HOUSE (納島ハウス)

小値賀町納島郷 (Webサイトよりお問合せください)
<https://noushima.com>



野崎島自然学塾村

小値賀町野崎島 電話：0959-56-2646 (おぢかアイランドツーリズム)
<https://ojikajima.jp/gakujyuku>



古くからの営みに敬意を払う

Help to preserve the original landscape and traditions.



「古民家ステイ」に始まった小値賀の古いものを活用する取り組みは、若い世代にも引き継がれ、島の新たな魅力となりつつあります。昔の暮らしを体験する宿や古民家を改装した銭湯、町の薬局など、島の様々な場所で目にすることができます。



「暮らしを育む家 弥三」は、築 100 年を超える古民家に暮らす夫妻が営む宿です。炭火をおこして七輪で料理をしたり、薪で沸かしたお風呂に入ったり。都会を離れて、暮らしのおすそわけをしてもらおうと、五感がちょっと豊かになるようです。

暮らしを育む家・弥三

小値賀町柳郷 775-4 連絡先：info@yanoyanoie.com
<https://www.yanoyanoie.com>



古民家を改装したその名も「ofuroba (オフロバ)」。島の植物を使った薬草風呂と、本格的なフィンランド式サウナで身も心もリラックスできます。薪で沸かしたお湯は、なんだかまるやか。店主が島の人と一緒につくった湯船のタイルもお見逃しなく。

薬湯&サウナ ofuroba (おふるば)

小値賀町笛吹郷 1458 電話：050-7126-8159、不定休
[各種プランあり・完全予約制]



「おぢか薬局」は、築 150 年の古民家を島の木工さん方で改装した建物。化粧品のお取り扱いはありませんが、風邪薬や痛み止め、酔い止めなど各種市販薬が揃い、処方せんも受け付けている島で唯一の薬局です。

おぢか薬局

小値賀町笛吹郷 1763-1 電話：0959-56-2600
営業時間：月～金 8:30～18:00
土・祝日 10:00～17:00、定休日：日曜日

